

川岸学園整備事業 基本設計(案) 市民説明会

令和7年1月10日(金)

川岸学園整備室

1. 開催日及び参加人数

日 時	場 所	参加者数
12月13日(金) 19時～	川岸小学校 第一体育館	23名
12月16日(月) 19時～	岡谷市役所 9階 大会議室	27名

2. 説明会の内容

- ・川岸学園整備事業 基本設計(案)の概要説明
- ・質疑応答・アンケート

3. 説明会でいただいた主な意見や質問等

【施設整備】

- ・給食室が1つとなり、小学1年生の教室から遠くなるので給食の運搬が大変になるのではないかな。
- ・低学年の遊び場となっている第二体育館が解体されるが、代わりとなる遊び場はどこになるかな。
- ・不登校気味の児童生徒が通う教室はどこになるかな。
- ・多目的室や地域交流室、メディアセンターはどのような用途で使用するのかな。
- ・第2グラウンドの遊具について、人の目が届きやすい校舎のそばに移設してもらいたい。
- ・第2グラウンドが前期校舎から離れてしまうため、先生の目が行き届かなくなるのではないかな。
- ・第2グラウンドはこども園が併設されることから、狭くなる。地域の少年野球チームが使用する際にボールがグラウンド外に飛んでいるので、フェンスの設置などを検討してほしい。
- ・0歳から14歳までが同じ場所で過ごすので、安全管理をしっかりとしてほしい。
- ・中学校にはエレベーターがないので、設置してほしい。
- ・小学校と中学校の周りを走れるランニングコースが作れたら面白い。
- ・周辺整備として、トチノキ以外の樹木は伐採されてしまうと思うが、場所が変わってもよいので、桜の木やイチイなどをまた植樹してほしい。
- ・安全対策として防犯カメラの設置はするのか。
- ・普通教室と特別支援学級が離れているため、隣り合うような配置を検討してほしい。

【教育内容等】

- ・小学校内にLD等通級指導教室やことばの教室を設置する予定はあるか。
- ・不登校の児童生徒が増えており、学校へ行けないでいる子どもたちがその前段で安心して過ごせる場所の確保、職員の充実をお願いしたい。
- ・身体的な障がいがある子どもは特別支援学級に通学できるのか。
- ・自分のことを大事にし、地域愛を育む教育を進めてほしい。
- ・点数を取ることが優先される教育ではなく、自分で課題を見つけて、自ら考えて行動できるような教育を進めてほしい。
- ・小中一貫のメリット(小中一貫にすることでどういうことができるのか)について、もっと周知してほしい。
- ・学区外からも川岸学園に行けるようにしてほしい。
- ・幼保小中は小一プロブレムや中一ギャップなどの解消など良い面があるが、人間関係がずっと固定されるため、一度人間関係が崩れると抜け出せないデメリットもあるため、配慮してほしい。
- ・給食のアレルギー対応について、保育園では個別対応をしてくれたが、義務教育学校はどうなるのか。

【こども園】

- ・こども園の園庭は全面を芝生化にするのか、それともトラック内のみか。
- ・2歳児のトイレの便器の高さはどのくらいか。また、0歳と1歳は別々に生活をするのか。
- ・園庭の遊具エリア内に砂場を設置するのか。
- ・保育室は子どもたちが食事以外にいろんな活動ができる広さを確保してほしい。
- ・保育園は災害時の避難所となっているが、休園中の保育園の管理はどうなっているか。
- ・こども園のプールはどこに設置するのか。プールの使用後に使うシャワーをテラスの前に設置してほしい。

【その他】

- ・資料室には、川岸小学校150年間の歴史的な備品や農機具等が保管してあるので、地域の専門家も入れて、一緒に整理を進めてほしい。